

<第 4176 回>

目的地：平ヶ岳（越後）

担当者：谷口秀子

実施日：2021年9月30日（木）～10月3日（日）

形式：民宿泊山行

費用：¥33,000.-

参加者：5名

泉文子・柴崎美登里・新里美和・山本勉・谷口秀子

行程：

9月30日 天気：曇り

大阪駅（桜橋口 JR 高架下）（22:10）⇒

10月1日 天気：雨時々曇り

⇒（6:56）長岡駅東口【駅構内にて朝食】⇒[レンタカーにて観光]（8:35）⇒（9:25）トキみ〜て（長岡市トキと自然の学習館）⇒（10:30）長岡市寺泊水族館⇒（11:50）寺泊魚の市場通り⇒（13:10）道の駅ながおか花火館⇒（14:30）スーパーにて買い出し⇒（15:25）樹湖里【泊】

10月2日 天気：晴れ時々雨

樹湖里（4:00）⇒（5:16）平ヶ岳中ノ岐登山口（5:45）⇒（6:45）クロベの大木⇒（8:10）玉子石分岐→（8:15）玉子石→（9:00）平ヶ岳三角点→（9:15）平ヶ岳山頂→（9:25）平ヶ岳三角点（昼食9:45）→（12:35）中ノ岐登山口⇒（14:00）樹湖里→（14:30）温泉（白銀の湯）⇒（16:00）⇒[レンタカーにて買い物・夕食]⇒長岡駅東口（22:05）⇒

10月3日⇒大阪駅（桜橋口 JR 高架下）（6:36）[解散]

感想：

てっきり自分の例会も中止になると思っていたのですが、再開予定との予想外の吉報を目にする。実施するかについては色んな意味で悩みました。でも、やっぱり行ってよかったと今は思います。

去年に続き今年も台風が発生し登山当日まで去年の悪夢がよぎる瞬間が何度かありましたが、なんとなく雨に降られる気がしませんでした。早朝送迎車に乗り、真っ暗な悪路をガタガタ揺られながら登山口に到着。出発ギリギリまで降っていた雨が止み、紅葉し始めた静かな樹林帯を抜け雲の切れ間から見た雨上がりの澄んだ青空はとても爽やかでした。同じコースを歩く人はごく限られた人数だったので、登山道のあちらこちらに生えているキノコを観察したり、立ち止まって景色を眺めたりしながら5人でのんびり歩きました。

中ノ岐登山口から玉子石分岐までの途中、登山者の士気を鼓舞する工夫を凝らした看板がいくつかあります。看板を見る度に楽しい気持ちになりました。玉子石分岐に着くと一気に視界が開け、木道を歩きながら平ヶ岳のビューポイントの一つである玉子石が見える場所へ。山肌が紅葉し360度広がる山並みは本当にきれいでした。ここからの道はずっと木道歩きで、山頂～姫ノ池をぐるっと回り山をお散歩しているような感じです。途中雲が広がり小雨がぱらついたりする時がありましたが、姫ノ池到着時は真っ白で何も見えなかったのが暖かい日差しと共にガスがさっと晴れ池塘や平ヶ岳を見渡すことができました。

12時半までに登山口へ戻らなくてはいけなかった為、帰りはもと来た道を急ぎ足で引き返します。行きと違って帰りは必死に歩きました。時間が迫っていたのと、登山口近くにヒカリゴケのある場所があり、そこへ立ち寄りたかったからです。遅刻や〜！と言いながら全員ダッシュでヒカリゴケを観察し、5分オーバーでゴールしました。なかなか疲れました・・・

無事下山して、ほっとした気持ちを更に和ましてくれたのがススキロード。朝は真っ暗で何も見えなかったけど、道の両サイドにはふわふわのススキがどこまでも続いていました。車を降りてゆっくりお散歩したいと思うような優しい空間でした。誰でも入るのが許されない場所だから、ありのままの自然がずっと残っていてきっとこれからもずっとこの土地の方たちに守られていくんだろうなと思います。

話変わって、登山前の観光。レンタカーを借りて、まず最初に向かったのがトキの学習館。お客さんは私たちだけだったので、職員の方から貴重なお話を伺いながら、間近で見ると対面のトキに釘付けになってしまいました。施設内にある展示内容もとても興味深く、受付に飾ってあった千羽トキがかわいくてじっと見ていたら、「いくつでも持って行っていいですよ。」と折り紙で作ったトキをくださいました。

次に向かったのが、寺泊水族館。しばらく車を走らせると正面に海が広がり、その先に見える島はなんと佐渡では！！水族館の規模は小さいですが結構見ごたえはあり、お天気が良ければここからのロケーションは最高だと思います。次はこの海を渡って、空を舞うトキを絶対に見に行こう！

平ヶ岳は自分が思っていた以上に遠かったです。銀山平は、奥只見のシルバーラインのいくつかの長い長いトンネルを抜けてやっと思って行くことができます。運転をしてくださった山本さんをはじめ、一緒にきてくださる皆さんがいてくれたから行くことができました。もし次ここに来ることがあれば、奥只見の遊覧船に乗って、尾瀬や会津駒ヶ岳へ行きたいかな。銀山平は桧枝岐に近いので、少なからず影響を受けているようで

す。宿に置いてあった名刺を見ると姓が「星」と書いていたのでご主人に尋ねると、この辺りもやはり同じ姓を持つ方が多いそうです。平ヶ岳の大木にも名前などが刻んだ跡が残っていました。山や旅を通してその土地の文化に触れることも楽しいですね。